



元福 小だより

No.7 令和7年11月28日

ふじみ野市元福岡 3-15-2 TEL 264-5402 FAX 266-2796
E-mail motofukusho@fujimino.ed.jp



親の背中 大人の背中

校長 木内 芳仁

2学期も12月を残すのみとなりました。2学期のゴールまで、あとわずかです。2学期も子供たちは様々な場面で力を発揮し、成長を見せてくれました。おそらく、ご家庭でもそのような姿がたくさん見られたのではないかでしょうか。子供の成長は、当然、自分が努力した結果であることはいうまでもありません。しかし、子供が成長するためには、周りの大人の役割がとても大きいように感じます。

「子供が成長するための大人の役割」と聞いて、どのような姿を思い浮かべますか。

その1つには、子供に対する直接的な関わり方があると思います。学校では、毎時間の授業で、既習の内容を振り返りながら新しいことを指導しています。子供たちは、日々、新たな知識や技能を獲得するとともに、思考力・判断力・表現力等の力を高め、主体的に生きる力を培い、自分の成長へとつなげていきます。ご家庭においては、お子さんが乳幼児期の頃から、食事や睡眠といった心と体を健康に保つための基本的な生活習慣や社会的なマナー、他者とのコミュニケーション等について繰り返し教えてくれることで、できるようになることも増え、自分を成長させていきます。

直接的な関わり方がある一方で、むしろ間接的な関わり方が重要だとする考え方もあります。このことを言い表しているのが、「親の背を見て子は育つ」ということわざです。このことわざは「子どもは親の言動や生き方を直接言葉で教えられるよりも、日々の振る舞いを模倣して成長していく」という意味です。子供にとって、他者の行動や言葉を観察して真似ることは、学習や発達の重要なプロセスだとされています。

さる11月22日に行われた音楽会の終了後に、職員室で、あることが話題になりました。それは、参観された方々の入場や退場、鑑賞のしかたについてです。私も体育館におきましたのでよく分かります。子供の演奏ができるだけよい場所で見たいという思いから、席取りを急ぐ状況も往々にしてあります。しかし、この日は、参観される方々が、子供たちの退場と入場を優先し、前の学年の演奏を観た方が移動または退場した後、譲り合って席に着くという様子がどの学年でも見られていました。当たり前のことだと思われるかもしれません、私は、正しい立ち居振る舞い、社会的なマナーを、語らずして子供たちに教えてくれているように感じました。まさに、望ましい光景であり、子供に見せたい大人の姿でした。おかげさまで、音楽会は、運営上の課題はあったかもしれませんが混乱することなく、子供たちは、たくさんの方の前で練習の成果を存分に披露することができました。

学校でも家庭でも、教えたり、やって見せたり、一緒にやったりすることで、子供が学び、身に付け、成長につながることもたくさんあります。しかし、それ以外の場面においても、大人の行動や言動を子供が自らの意思で、見て、感じて、判断して自分の生き方に取り入れていることも少なくはありません。子供は、見ていないようでも実は大人をよく見ていています。だからこそ、見られていることを自覚し、子供に模範を見せられる大人になりたいものです。